

## 砺波信用金庫の〈経営理念〉

- 健全で活力のある中小企業の育成発展
- 豊かで安定した家庭生活の実現
- 明るく活気に溢れた街作り

## 令和2年度決算報告

### ■ 預金、貸出金の状況

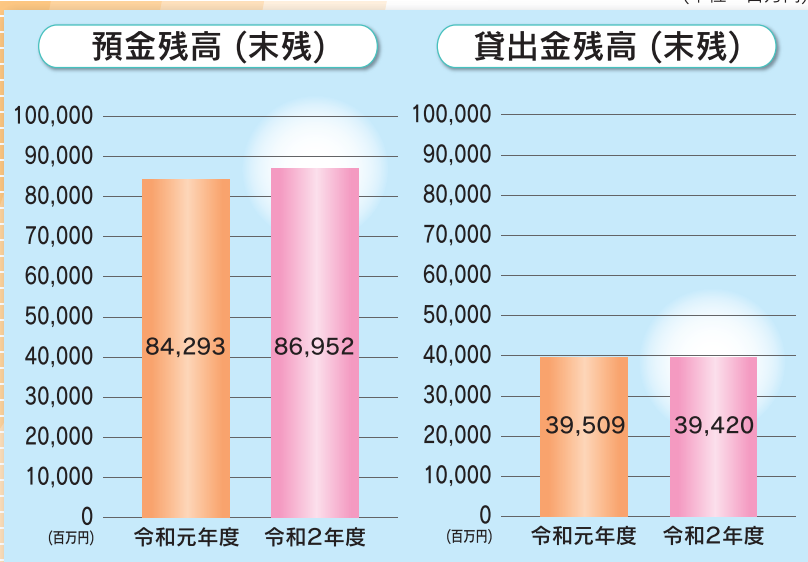
(単位：百万円)

区 分	令和元年度	令和2年度
預 金 残 高 (末 残)	84,293	86,952
貸 出 金 残 高 (末 残)	39,509	39,420

令和2年度(令和3年3月末)の預金残高は、869億52百万円で、前年度(令和2年3月末)対比26億58百万円、3.15%の増加となりました。定期性預金は減少となりましたが、流動性預金は増加となりました。

また、貸出金残高は、394億20百万円で、前年度(令和2年3月末)対比88百万円、0.22%の減少となりました。事業性融資や金融機関向け融資等は増加となりましたが、地方公共団体への融資のほか、住宅ローン等個人向け融資は減少となりました。

(単位：百万円)



### ■ 収益(業務純益、経常利益、当期純利益)の状況

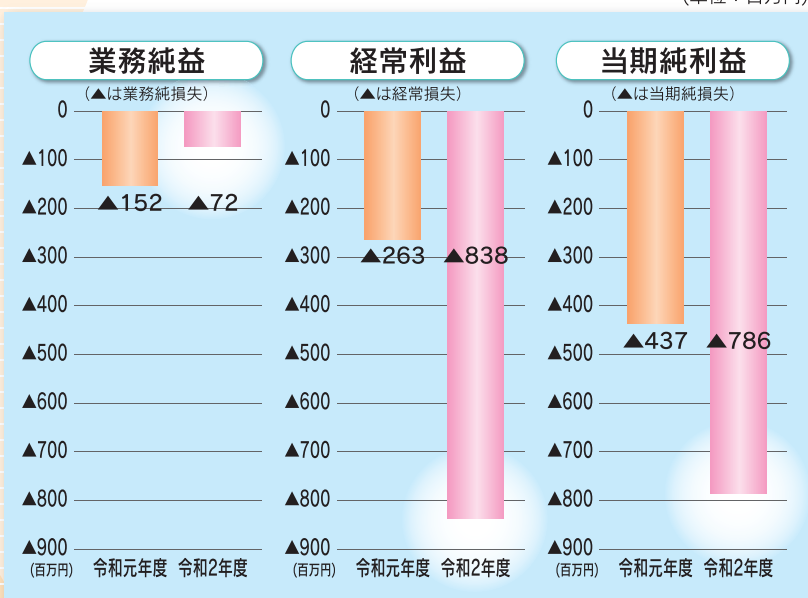
(単位：百万円)

区 分	令和元年度	令和2年度
業 務 純 益 (▲は業務純損失)	▲152	▲72
経 常 利 益 (▲は経常損失)	▲263	▲838
当 期 純 利 益 (▲は当期純損失)	▲437	▲786

令和2年度の収益状況は、業務純損失が72百万円、経常損失が8億38百万円、当期純損失が7億86百万円となりました。

これは、将来に備えた厳格な自己査定や、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から取引先企業の業況が悪化したことなどにより、不良債権処理費用が大幅に増加したことによるものです。

(単位：百万円)



### 〔令和3年度への取組み〕

令和3年度は、貸出金の増加などに取組み、業務純益は1億61百万円、経常利益は77百万円、当期純利益は38百万円を計画しています。